

横浜地域連合第 33 回定期総会

ヤマト労組横浜 鈴木

横浜地域連合第 33 回定期総会が 2023 年 11 月 29 日（水）にワークピア横浜にて、開催されました。

議長団選出

JAM 神奈川の関代議員・自治労の深瀬代議員が選出された。議長就任挨拶では、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、日常生活もコロナ禍以前に戻りつつあります。しかし、様々な品物の値段が高騰し、私たちの生活を圧迫しています。賃金上昇も数字では改善が見られますが、物価の上昇に追いついていない状況です。さらには所得格差の拡大や深刻さを増す少子高齢化が経済、社会保障、財政の持続可能性に影を落とし、国民の将来不安につながっています。連合では一日も早い働くことを重視する安心社会の実現を目指して取り組みを進めています。本日の総会でこの一年の方針を確立し、私たち働く者が抱える課題に対する意思統一が図れればと挨拶がありました。



資格審査委員会・議事運営委員会

UAゼンセン阿部資格審査委員長より資格審査委員会の報告として代議員定数 104 名に対し 14 時 39 分現在、出席代議 83 名、委任状 9 名で成立要件を満たしており、総会成立の確認がされた。その後、基幹労連白石議事運営委員長より議事進行の提案がされた。



主催者挨拶



主催者として秋山議長よりご挨拶があり、新型コロナウイルス猛威もようやく収まりつつあるが、変化の激しい環境の中で横浜地域連合としては、しっかり議論し、各種活動を積極的に再開させて頂くことができた。本総会にあたり私の思いを込めて 3 点申し上げてご挨拶させていただきたいと思えます。まず 1 点目は働くことを軸とする安心社会の実現でございます。コロナ禍の経験や昨今の物価高など、社会経済の状況が大きく変化する中、雇用の維持や創出、また賃金や労働条件の向上など、それぞれの持ち場や立場で各種取組を行ってまいりました。引き続き実質賃金を確保すべく人への投資と月例賃金の持続的な改善などを力強く推進し、雇用と生活のセーフティーネットの充実強化につなげていくなどすべて

の働く仲間を守り、繋ぐそんな活動を展開してまいりたいと思っております。2点目はコロナ禍などによりコミュニケーションの制約も受けましたが、すべての働く仲間の期待に応えていくこのことは変わるものではないと思っております。労働組合が自分たちのために連帯するだけでなく、すべての人々に寄り添って存在することは常に求められると思っております。同じ方向を向いて皆が力を合わせれば、社会経済を新たな方向へと動かします。コミュニケーションの活性化を図り、そのことに理解と共感を得ながらすべての働く仲間や生活者とつながる活動を展開してまいります。3点目は安全と健康はすべてに優先します。すべての生活や活動においてこの安全と健康が保たれていかなければ成り立たないということです。危険な状態を作らないこと、けがや病気にかからないこと、このことこそが私たちが生きてく上で一番大切で、そして重要な取り組みであると思っております。以上3点を元に人と職場と地域を運動の基本として社会的使命を果たしていきたいと思っております。組合の幸せづくりと明るく元気な横浜づくりを目指していきます。横浜地域連合は、愛、希望、勇気、人が好きを合言葉に、各地活動を積極的に推進していき6地域連合と連携をしながら働く仲間の幸せに繋がっていく活動していくと述べられました。

来賓挨拶

連合神奈川 阿部事務局長
 神奈川県労働センター 池松所長
 立憲民主党代表&参議院・市議員
 国民民主党代表&市議員
 衆議院議員選挙推薦候補
 公明党横浜市議員団
 社民党
 山中横浜市長



報告事項

2023一般活動報告・2023会計報告・2023会計監査報告

議事事項

第1号議案2024年度活動方針(案)・第2号議案2024年度予算(案)・第3号議案「連合中央会費制度」に伴う規約の改正(案)・第4号議案2024年度役員体制(案)・第5号議案スローガン(案)・第6号議案総会宣言(案)上記6項目の議案が出席代議員の賛成多数で可決された。最後に団結ガンバロー三唱し、第33回横浜地域連合定期総会は終了しました。

